

第7章 パラダイム

この章では『Myth & Renaissance』における重要なキーワードであるパラダイムを解説します。この章は、あくまでプレイヤーのプレイ指針を提案するものであり、記載されているプレイを強制するものではありません。

7. 1 パラダイム

冒頭にも記載していますが、この章で解説する内容はあくまでプレイ指針であり、プレイ時に強制するものではありません。選択ルールのようにセッション参加者の合意の上で検討してください。

記載されている内容を理解した上で、シナリオに臨むとより面白いセッションができるようになります。

『Myth & Renaissance』の「パラダイム」とは、一般的な意味でのパラダイムとは意味が異なります。一般的にパラダイムと言えば、科学史家トーマス・クーンによって提唱された概念で、専門図式などと訳されます。

『Myth & Renaissance』での「パラダイム」は、個人の世界の捉え方と感情の関係です。

簡単に言うと、世界の物理現象と信仰の折り合いの付け方です。

どうして、太陽は東から昇り西に沈むのだろうか？

どうして、空は青く、火は触るといのだろうか？

どうして、人間は愛し合い、そして時に憎しみ合うのだろうか？

これらの疑問は、絶対存在の神により説明されていたのですが、これらを説明するすべを失ってしまいます。

これに対して、物事を観察し、そこから導かれる理知的な判断によって世界のあり方を理解しようと考えた人間が出てきました。

それは科学者と呼ばれる存在です。科学者は神話では説明できないような現象を世界に見つけてしまい、それを説明するために、理性を働かせ、世界に起こっていることを理解しようとしています。

現代人にとっては当たり前の感覚ですが、オーランの世界でこれを行うと、困ったことが起きてしまいます。

神話の説く倫理、社会規範もよりどころを失ってしまうのです。

オーランの世界では、神話を否定していまうと、神話の説く、世界法則以外の倫理感なども同時に否定されてしまいます。そうすると、自分と取り巻く世界の大部分がすべて否定されてしまうのです。

それは、自分の心のよりどころも失ってしまうということになります。心のよりどころを失ってしまった人間は不安定な精神状態になります。

神を選び、まやかしいではあるが安息の世界に生きるか、真実を知り厳しい現実を生き抜くか、その人生の分岐は下記のパラダイムシフト判定で決定することができます。

7. 2 パラダイムシフト判定

パラダイムシフト判定は選択ルールです。GMはプレイヤーにあらかじめ断っておいてから利用してください。

パラダイムを突き崩すようなことが起こる、またはそのような説明をされたときにパラダイムが崩れ、精神は不安な状況に陥ります。オーランに住む人々は、世界の形を定性的に理解できない状況に置かれると精神に傷を負ってしまいます。

オーランの人々は、神様の実在を当たり前を受け止められているだけ、現代人の感覚からするとそういう面では精神が弱いのです。

『Myth & Renaissance』では、パラダイムシフトは、心のよりどころを失いかけ、精神が不安定になっている状態のことを言います。

キャラクターが心のよりどころを失ってしまうような状況に直面した場合、「知力」のみで判定を行います。

パラダイムシフト判定が必要な状況として、以下の様なものがあげられます。

- ・ 敬虔な信仰者に神が手を差し伸べない
- ・ 神話に関して否定的な文献を発見する
- ・ 知っている世界観と違う世界観を聞かされる

これ以外にも該当するとGMが考えるならば、判定を行ってもよいでしょう。

目標値はGMが設定します。目安としては、

- ・ 誰が見ても明らか→7～10
- ・ 神話などの詳しいキャラクターなら分かる
→15～20
- ・ 専門家ではないとわからない
→30～40

同じ内容でも、より実体験に近い方が目標値は低くなります。

たとえば、「オバケが出た、と聞く」のと、「オバケを見る」のとでは、それまでの世界の認識を覆す力では後者の方がずっと大きいのです。

キャラクターがパラダイムシフト判定に成功した場合、その状況が自分の知っている世界の原理では説明できないことだと理解します。ここで、パラダイムシフトが起きます。

失敗した場合は、その事実が気付きません。つまり、パラダイムシフトは起きません。

パラダイムシフト判定に成功したキャラクターは、次に「心力」のみで判定を行います。

目標値は、パラダイムシフト判定の効果値になります。

この判定に成功した場合は、パラダイムシフトが起こり、心が揺らいだ状態になりながらも平静を装うことができます。

一方で、失敗した場合は、事実ショックを受け、「目標値」－「効果値」だけMPを減らします。これに加えて、しばらくまともな行動ができなくなります。

キャラクターによっては半ば狂人的な行動をとる

こともありえます。ぶつぶつとうわ言を言ったり、状況から全力で逃げ出したりするでしょう。

神への信仰が深いものなら、闇の神に心をとらわれたと思うことでしょう。

判定手順は以上です。

また、既知の事実に対してはパラダイムシフト判定を行いません。

7. 3 改宗

パラダイムシフトが起きたセッションでは、セッション終了時に「改宗」を行うことができます。

「改宗」を選択すると、これまで獲得した経験点を半分にする代わりに、すべての加護を取り直すことができます。

7. 4 文献

世界にはパラダイムに関する書籍がたくさんあります。これを読むことでパラダイムシフトが起こ可能性があります。

以下は文献リストです。

神話に関する文献

『始まりの書』

言わずと知れたオーランでもっとも有名な神話の書物です。オーランにいて、この文献の内容を知らないのは、異端者だけです。

『司祭見習いのための神学講座』

司祭見習いのための、神学の入門書です。

『神学大全』

新学を専門で学ぶ司祭のための教科書です。ありとあらゆる神話記載されており、各々に対して解釈も付いています。

科学に関する文献

【医学】

『光の書』

目を解剖し、その構造を調べた結果が記載されています。

『医学大全』

治療法に関する大辞典です。さまざまな病気に対しての治療法が記載されています。医学を専門とする科学者人気のある文献です。

『人体の構造に関する書』

人体の解剖に関する文献です。10 人の人体の解剖図と、解剖の手法について詳しく記載されています。

『心臓と血液の循環』

人体の解剖に関する文献です。心臓から血液が全身に送りこまれていることを突き止めたと記載されています。

【薬学】

『秘密の書Ⅰ』

金属から秘薬を作る方法が記載された文献です。再現性が乏しく、科学者の間でも文献の妥当性の評価が分かれています。

【化学】

『秘密の書ⅠⅡ』

金属を性質によって分類した文献です。『秘密の書Ⅰ』と違い、こちらはほとんどの科学者が正しいと認めています。

【物理学】

『大傑作』

月や太陽の運行に関して記載された文献です。どのような神の力で、月や太陽が運行しているかを記載している。説明に神の力を必要とするため、

多くの科学者にとっては物足りないものとなっています。

『天体の運行について』

天体の運行について記載された文献です。大地を天体とみなし、大地を含めた天体は、虚空を回っているとされています。科学者の中でも、ほとんどのものがこの説を信じていません。

『天文対談』

月に関する文献です。月の表面を望遠鏡で観測し、その結果を細かく記載しています。科学者を含め、多くのものこの観測結果を信じるに値しないとしています。

【工学】

『蒸気を用いた動力』

蒸気機関に関する知識が記載されています。その原理や設計方法が記載されています。

【数学】

『小さい数』

小数、分数に関する知識と、その記述方法、計算方法が記載されています。

『算盤の書』

算盤による計算方法が記載されています。これにより高速に計算することができます。

【哲学】

『マツコーのひげそり』

これは文献ではありません。マツコーという科学者が唱えた説です。「説明に不要なものは説明から省くべきだ」という説です。

【神学】

『真なる歴史』

オーランに伝わる神話を綿密に調査し、その神話の妥当性を疑っている文献です。所持していれば、当然異端となります。

これ以外にオリジナルの文献をシナリオに登場させてもよいでしょう。

7. 5 神具、模造具

オーランでは、神話の時代の遺物が見つかることがあります。

これらは、神具と呼ばれています。

これらは古の大戦、無塵戦争で人が作り神に献上したと言われています。

見つかった神具はほとんどが神殿で保管され、一般人が所有することは滅多にありません。神殿では一般人の所持を禁止しています。

神具は光の神々、闇の神々ともに使用していたため、その効果も使用者にとってよいものかどうかすら、外見では判断できません。

また、使用方法が分からないものがほとんどで、現在では使用されているものはほとんどありません。

一部の神学者や神具をひそかに手に入れた科学者がその「神具」のメカニズムを調べ、それを人の手によって再現したものが、「模造具」と呼ばれるものです。

「模造具」も数が少なく一般人が所持していることは稀です。

神具や模造具との出会いは、その強大な力故、キャラクターのパラダイムに影響を与えることがあります。

以下は神具、模造具リストです。

神具

メティアの聖杯

薄明かりの神メティアが、無塵戦争で作り出した神具です。この聖杯に注がれた水を飲むと、いかなる病気でも治ると言われています。

スピリアの聖杯

薄明かりの神スピリアが、無塵戦争で作り出した神具です。この聖杯に注がれた水飲むと、たちどころに元気になると言われています。この水を飲んで、戦士たちは不眠不休で戦ったそうです。

星砕きの毒矢

闇の神スニーフが作り出した毒矢です。この毒矢はセルフアに命中し、セルフアを砕きました。伝承によると、セルフアに命中した毒矢はオーランの大地のどこかに眠っているそうです。

模造具

オルニスの翼

鳥の翼をまねて羽ばたく機構を取り付けた翼です。オルニスの翼には何度か作られており、初めて作った時は、紙で作られました。

神のオルニスの翼をつけてがけから飛び降りると同時に、雨が降り、墜落してしまいました。以降は布などで作られていますが、時々破れてしまい墜落することがあるようです。